

当館の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について—その6

相変わらず COVID-19 のお話です。

11月28日から再び群馬県の警戒度が全県で**警戒度3**に引き上げられました。この意味は一步間違えれば緊急事態宣言に4月のように、再びなる、ということです。

これまでもみなさんは、一般社会の従業員以上に介護施設の職員として感染を避ける注意をしてくていると思います。

既に十分気を付けている方はもうしばらくそれを続けてくださるようお願いいたします。ちょっと気が緩んでしまったかもしれない方は、緊禪一番、ふんどしを締めなおして改めて感染予防に心がけて頂きたいと思います。

「上手の手から水が漏れる」というように、あるいは「アリの一穴」というように、思わぬちょっとしたことから感染してしまいかねないということもあります。

何度もお話ししているように、介護施設は三密回避ができません。「込まない・持ち出さない・拡げない」の3拍子のうち「持ち込まない」に99%の力を注がなければなりません。完璧には防げないかもしれませんが完璧を目指して現実的な努力するしかありません。

「3密の回避」、「新しい生活様式」、そして、誰でもカゼを引きやすい時期ですので「3つの関門」を意識した早めの受診と検査、当館の2週間毎の感染予防委員会の決定事項、報告連絡相談、など各自がそれぞれ意識的に心に留めて、対応して行きましょう。

当館の3つの関門：

- ① 各自、体調の異変を感じたら、いつもより早めに病院/医院受診すること（異変の目安は「面会者健康チェック表」を流用します）。**症状が軽くても敢えて早めに受診**しましょう。
- ② 上武呼吸器科内科病院/ふえきクリニックには優先的に診察を受けられるようお願いをしました。PCRまたは抗原検査を希望するようならTEL等で事前に受診先に伝えてください。
- ③ 上記①と②の結果を受けて施設が総合判断して出勤・欠勤の要否を決めますので必ず上司や同僚に事前相談して下さい。休むことの「うしろめたさ」を気にしないこと、これが大事です。

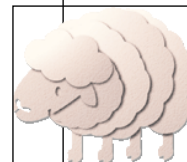
皆さんの健闘を祈ります。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。
私たちは、利用者の QOL・職員の QOL・健全経営の3立を目指します。
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。